

学科近況

メディア情報工学科から3月に41名が卒業し、翌4月には新たに42名の16期生が入学しました。1年生が入学してから3ヶ月足らずですが、すでに高専生らしくいろいろな方面でとがり始めています。

本学科のタンスリヤボン先生がタイで新たに開講するタイ高専コースの立ち上げのため4月から2年間タイに派遣されました。これは世界的に注目されている「KOSEN」という教育システムの輸出の一環です。タンスリヤボン先生にはタイにおける技術者育成が期待されています。

高専は本科が5年間、専攻科を含めると7年間あります。学生は学年毎に異なった学びや悩みを経て成長します。各担任からの学年毎の話題で、学生の成長を感じ取って頂けたら幸いです。

(学科長：正木 忠勝)

各学年の話題（1年生）

早いもので1年生達が入学してから3ヶ月弱が経過いたしました。最初のうちは慣れない90分間の講義や初めての寮生活に悪戦苦闘していた1年生達も、6月に入る頃には殆どの学生達が沖縄高専での生活に慣れ、のびのびと過ごす様子が見られるようになってきました。

この3ヶ月弱の期間には色々なイベントがありました。4月20日（土）には寮生会の先輩達が新入生歓迎イベントとして久志区運動場までの遠足を企画・実施してくれました。当日は残念ながら天候が悪く、目的地でのキックベースは行えませんでした。1年生達は先輩達と共に楽しい時間を過ごすことができたと思います。また、26日（金）には体育祭を開催することができました。前日の雷雨により開催が心配されましたが、当日は無事晴れて最後まで競技を行うことができました。

5月に入り、10日間という長いゴールデンウィークが明けてから少し落ち着いた中旬過ぎの23日（木）と24日（金）には、1年生が初めて受ける前学期中間試験に対する不安や心配を少しでも解消してもらうために、本科2年生以上の学生達による試験対策講座を開催いたしました。参加した1年生達は、先輩達から説明された勉強のコツ

などを熱心に聞いていました。

6月6日（木）から始まった前学期中間試験では、先述の試験対策講座や学生1人1人の日々の勉強の成果が問われました。本科3年生までの科目の殆どは、1年掛けて学ぶ、所謂「通年科目」です。多くの科目において定期試験が4回ほどあります。よって、今回の中間試験で赤点（60点未満）を取ってしまったとしても、残りの試験で頑張れば良い点を取ることができれば、各科目の学年末総合成績を赤点にせず済みます。1～2度失敗したからといって決して諦めたりせず、最後の最後まで頑張れば勉強を継続して欲しいと思います。

(1年学科担任：佐藤 尚)

各学年の話題（2年生）

昨年度に引き続き15期生の学科担任を担当させていただいております。2019年度の2年メディアは、昨年度末に2名が退学し、40名でのスタートとなりました。本校に限らず、高専では退学率の高さが大きな課題の1つとなっています。クラスの一でも多くの学生が卒業し、それぞれの進路で活躍できるよう、指導者としてできる限り支

えていければと考えています。学生のことで心配な点、困っていること、などがありましたらお気軽にお声掛けください。また、2019年4月から2021年3月まで、本校のキャンパスハラスメント防止相談員を兼務することになりました。学生のハラスメント被害に関する情報がありましたら、学年を問わずお知らせください。

(2年学科担任：西村 篤)

各学年の話題 (3年生)

これまで2年生まで混合クラスで過ごしてきた3年生ですが、3学年からは学科別の学級生活がはじまり、これから卒業まで基本的に同じメンバで過ごすこととなります。お互いのことを知っているようで良く分かり合えていなかったかもしれませんが、3か月経って仲の良い友達もでき、クラスの雰囲気も明るくまとまってきたように思います。これから、お互いの個性を尊重しながら、楽しいことも苦しいことも分かち合い、仲間としての連帯感が持てるようなクラスの雰囲気をつくっていきたくと考えています。

4月26日(金)には毎年恒例の体育祭が開催されました。天候にも恵まれ、新しく作ったクラスTシャツを着て、一致団結して競技に楽しみながら臨みました。行事を通じてクラスのメンバ同士がより一層仲良くなれたのではないかと思います。5月8日(水)のLHRは、クラスメイトとの親睦を深めるために、お好み焼きを企画しました。皆で焼いて食べながらの楽しいイベントとなりました。

勉強の面では3年生からは専門科目が増えていきます。試験前に慌てて対策をするのではなく、普段から短時間でも集中して勉強する習慣を身につけるよう指導すると共に、科目の勉強以外にも良いので、何か一つ自分の興味のあることについて取り組んでみようと声をかけています。

3年生での大きなイベントとして12月には研修旅行が予定されています。今年度の研修旅行は関東に行くことを計画しており、インターンシップや就活、進学などの活動の際に困らないよう、目

的地までの電車の乗り方や時間の管理、企業訪問などを通じたマナーや滞在中に気を付けることなど、少しでも多くのことを学んで欲しいと思います。日程、航空便、宿泊先等の概要が決まりましたらご連絡させていただきます。旅費以外にもスーツやカバン等、必要に応じて準備に手間や費用がかかるとは思いますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

3年から4年にかけては、進級要件が厳しくしっかりした勉強と生活リズムの習慣付けが必要と言えます。担任としては全員が無事に進級してほしいと願うと共に、就職や進学などの卒業後の新しい進路開拓に向け、自分のやってみたいことや気になることにチャレンジし、一歩でも成長できる年にしてほしいと願います。保護者の皆様との連携も図りながら、指導・支援を行って参りたいと思いますので、ご支援ご協力のほど何卒宜しくお願い致します。

(3年学科担任：鈴木 大作)

各学年の話題 (4年生)

4年生では、就職・進学に向けて準備を始めなければなりません。就職については、本格的に活動を開始するのは5年生になってからが多いですが、それまでに何の準備もできていないと大変な苦労をすることになります。それまでに、企業研究や自己分析をしっかりと行っておく必要があります。

現時点で明確な就職先や進学先の希望を挙げることができる学生はほとんどいません。例えば就職先であれば、どのような職業・職種・企業があるのか知らないといけないし、それ以前に自分がどういう仕事をしたいか、どのような強みがあるかを知っていなければなりません。

3年生の時とは違い4年生は授業の時間が少ないため、この空いた時間を有効に活用すること、卒業後の進路を意識して充実した1年間を過ごすことが重要です。進学を希望する学生も進学が目的ではなくその先の就職、人生の将来像・展望が重要です。何を学び何を身に付け、どのような職

業に就くのか、家族や友人と深く話し合っしてほしいと思います。

就職・進学に向けてとても重要な準備の1年になります。保護者の皆さまも是非、お時間を作ってください将来について話し合っただけですよう、よろしく願い申し上げます。

(4年学科担任：當間 栄作)

インターンシップの話題 (4年生)

沖縄高専では4年生を対象とする必修科目「インターンシップ」を実施しています。「インターンシップ」では、これまでの学校生活で学んだ理論や考え方を実際の社会において実践することにより社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

今年度のインターンシップは8月26日(月)から9月20日(金)の夏季休業中に実施されますが、例年よりも夏季休業が短くなっています。この間に1週間程度の就業体験を行うこととなります。現在、インターンシップ履修生36名の希望調査を終えました。これらの希望調査を元にそれぞれの学生の希望する企業との調整を進めています。現時点では7名のインターンシップ先が確定しております。

また、インターンシップへ参加するための準備として、6月19日(水)には女子学生を対象としたメイクアップセミナーを、6月26日(水)には外部講師をお招きしての「自己分析セミナー」を実施する予定です。

7月上旬までに履修生全員のインターンシップ先が決まりますように、指導して行きます。保護者の皆様におかれましても、どうぞご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(4年学科副担任インターンシップ担当：伊波 靖)

各学年の話題 (5年生)

【学級状況】

はやいもので入学から4年がたち本科5年最後の1年が始まりました。多くの学生にとっては学生生活最後の1年になりますので、社会人になる準備をしつつも学生生活を楽しんで欲しいと思います。学業においてのこれまでの4年間との大きな違いは卒業研究です。答えの用意されない課題に対して、自ら仮説を立て、実証・実験し、新たな知見を得る高等教育機関でしか経験できない貴重な授業になります。受け身ではなく、自ら学ぶ姿勢が求められますが、この経験は今後の人生においても大きな糧になります。機会がありましたらご家庭でも話題にしてください。研究の励みになります。

【進路の活動】

今年度の進路希望は、全37名の5年生の中で就職30名、進学6名、その他1名です。6月19日現在、就職希望学生の多くの学生が進路を確定しました。まだ確定していない学生も就職活動を頑張っているところです。進学希望学生は、3名が進路を確定しました。まだ合格していない学生も大学3年次編入の試験は夏にかけて行われるため受験勉強に励んでいます。現在活動中の学生の保護者におかれましては、家庭でも相談や息抜きにご協力いただき、就職・進学活動を乗り切れるようご助力ください。(5年学科担任：玉城 龍洋)

専攻科の話題

専攻科は本科卒業後の進学先として創設された2年間の教育課程です。この2年間の教育課程は本科における教育の基礎の上に、工学に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、豊かな人間性と国際性を持ち、実践性・創造性を兼ね備え複合領域にも対応できる幅広い視野を身に付ける課程です。

専攻科の学生は、所定の審査に合格すると、大学改革支援・学位授与機構より工学学士の学位が

授与されます。これにより、進路は更に大学院へも広げられることとなり、一層幅広い選択が行えるようになります。

専攻科情報工学コースには、現在、専攻科2年生が4名、1年生が3名在籍しており、1年生たちは専攻科修了するまでに必要な単位、一般科目8単位以上、専門共通科目34単位以上、専門科目20単位以上について積極的に勉強に取り込んでいます。そして特別研究に関する課題設定にもそれぞれ所属研究室の指導教員と協議しているところです。

2年生たちは10月の中間発表資料作成に向けて昨年から取り込んでいる特別研究の成果を確認しながら、特別研究論文執筆における構成を調整しています。進路を決めるために一生懸命活動した結果、無事全員の進路先が決まりました。現在、それぞれの進路先の最終手続きをしています。

(情報工学コース副主任：バイティガ ザカリ)

その他学科内の話題

■受賞

- ParadiseJam(2018年12月) 特別審査委員賞
『DYNAMIC DANCE』チーム: TAMAGO is Not GOHAN
伊藝 巧也(2年当時)
伊佐 龍拓(2年当時)
慶田 神乃恩(2年当時)
比嘉 風(2年当時)
- X-Tech Innovation2018 沖縄地区大会(2018年12月) 優秀賞
『SafetyPlus』チーム: あっぷるもんぶらん。
上原 すみ加(1年当時)
酒井 玄(1年当時)
- X-Tech Innovation2018 全国交流会(2018年12月) グランドチャンピオン
『SafetyPlus』チーム: あっぷるもんぶらん。
上原 すみ加(1年当時)
酒井 玄(1年当時)
- 起業家甲子園(2019年3月) 企業賞

『SafetyPlus』チーム: あっぷるもんぶらん。

上原 すみ加(1年当時)

酒井 玄(1年当時)

- ICT ビジネスモデル発見&発表会全国大会(2019年3月) 企業賞

『SafetyPlus』チーム: あっぷるもんぶらん。

上原 すみ加(1年当時)

酒井 玄(1年当時)

- 宮古スペースバルーンコンテスト(2019年5月) Loop賞(スポンサー企業賞)

チーム: TAMAGO is Not GOHAN

伊藝 巧也(3年)

伊佐 龍拓(3年)

慶田 神乃恩(3年)

比嘉 風(3年)



編集後記

令和という新しい元号となり、最初の学科だよりとなります。これまで平成の時代から数え、学科だよりも令和元年度で14年目となります。これから令和という新しい時代に向け、学科だよりを通じて学生の様子や学科の取り組みを少しでもお伝えできればと思います。学科だよりに関するご意見ご要望がございましたら、是非下記連絡先までお知らせください。また、学校に対してお持ちの疑問・要望、また他の保護者の方々にも知って欲しいことなどを投書して下さることも大歓迎ですので、是非お気軽にお便りをお寄せ下さい。

編集担当者連絡先:

〒905-2192 沖縄県名護市宇辺野古 905

沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科

鈴木 大作

TEL 0980-55-4003 (代) FAX 0980-55-4012 (代)